

公表

令和6年度事業所における自己評価総括表

○事業所名	Baito児童発達支援・放課後等デイサービス			
○保護者評価実施期間	2025年1月14日		～	2025年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数)	18名
○従業者評価実施期間	2025年1月14日		～	2025年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月14日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	幅広い年齢・発達に応じた支援	アセスメントをもとに支援環境や空間の個別化を行っております	個々の興味・関心に合わせた支援教材の充実を図っていきたいと考えております
2	放課後等デイサービスからの移行支援サービスの充実	学校や保護者との連携を図り、適切な進路選択に向けてのプログラムの実施を行っております	放課後等デイサービスでの支援実績の公表など
3	臨床発達の専門家により支援	発達の観点からお子様の支援をおこなえるようアセスメントの充実を図っています	子どもの発達の専門家の育成・資格取得に向けての取り組み

○ 分析結果

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流全般において	地域性と個人情報の観点から利用児の所属をオープンにしにくい傾向がある	全体活動として捉えるのではなく、個人での活動の実施や職員による事業所運営の広報活動など視点を变えての取組みをおこなっていきたいと考えております
2	児童発達支援の拡充	園庭スペースがなく、室内での運動発達へのアプローチに制限がかかっている	事業所外での活動（運動）への取組みを増やしていく。例えば公共公園などの活用を積極的に行っていきたいと考えています。
3	保護者会の開催や保護者向けの研修会の実施	障害種別や保護者の就労形態、家族背景の多様化により、集まりにくい状況がある	実施回数や規模を必要に応じた形態にする事で柔軟な支援体制を構築することが可能ではないかとも考えております。きめ細やかな支援を提供するにあたっては職員の勤務配置への考慮も考えていく必要があります。